

科目名	デジタルファブ리케이션2							年度	2026
英語科目名	Digital Fabrication 2							学期	後期
学科・学年	建築学科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	升水 健太	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
<b>【科目の目的】</b> ・デジタルファブ리케이션を活用してものづくりを行う。									
<b>【科目の概要】</b> デジタルファブ리케이션1で学んだfusion360を活用して設計課題に見合った、公共建築に置く家具をデザインする。デザインした物は3Dプリンターで印刷する。									
<b>【到達目標】</b> A. デジタルファブ리케이션の概要を理解し、デザインができる B. 公共建築の家具として使い心地の良い家具になっている									
<b>【授業の注意点】</b> 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により評価を行う。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	デジタルファブ리케이션の概要を理解し、デザインができるだけでなくアプリで自由にデザインできる			デジタルファブ리케이션の概要を理解し、デザインができる				デジタルファブ리케이션の概要を理解せず、デザインがでない	
到達目標 B	公共建築の家具として使い心地の良い家具におりかつデザインとして素晴らしい			公共建築の家具として使い心地の良い家具になっている				公共建築の家具として使い心地の良い家具になっていない	
到達目標 C									
到達目標 D									
到達目標 E									
<b>【教科書】</b> 配布資料による									
<b>【参考資料】</b>									
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b> 成果品等で評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		デジタルファブ리케이션2			年度	2026
英語表記		Digital Fabrication 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	事例研究1	研究	1 産業機械を使いどのようなデザインができるか調査する	研究する能力を身に付け、自分がこれから進む道が見える	2	
2	事例研究2				2	
3	レポート発表				2	
4	3Dプリンター実習1	3Dプリンター	1 3Dプリンターを使い作品を造形する	スライサーを扱う	2	
5	3Dプリンター実習2			機会を適切にセッティングし扱う	2	
6	3Dプリンター実習3			機械のメンテナンスをする	2	
7	レーザー加工機実習1	レーザー加工機	1 レーザ加工機を適切に扱う	データの扱いを適切に行う	2	
8	レーザー加工機実習2			機械の使い方を知る	2	
9	レーザー加工機実習2			安全対策やメンテナンスを知る	2	
10	CNCルーター実習1	CNCルーター	1 CNCルーターを使い作品を造形する	データの扱いを適切に行う	2	
11	CNCルーター実習2			機械の使い方を知る	2	
12	CNCルーター実習3			安全対策やメンテナンスを知る	2	
13	組み立て1	アッセンブリ	1 適切かつ正確に組み立てる	作った工作物を組み立てる	2	
14	組み立て2				2	
15	講評会	発表	1 発表	他者の発表を聞き知見を深める	2	

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他  
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等